

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2015年8月30日聖日礼拝

---

使徒の働き連講 6 1

「心暖まる出会いの旅」

使徒の働き 21章 1節 - 16節

竿代照夫牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### 使徒の働き 21章 1節 - 16節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
( ©新日本聖書刊行会 ) を使用しています。

第二版の聖書はp248 ~ / 第三版の聖書はp271 ~

- 1 私たちは彼らと別れて出帆し、コスに直航し、翌日ロドスに着き、そこからパタラに渡った。
- 2 そこにはフェニキヤ行きの船があったので、それに乗って出帆した。
- 3 やがてキプロスが見えて来たが、それを左にして、シリアに向かって航海を続け、ツロに上陸した。ここで船荷を降ろすことになっていたからである。
- 4 私たちは弟子たちを見つけ出して、そこに七日間滞在した。彼らは、御霊に示されて、エルサレムに上らぬようと、しきりにパウロに忠告した。

5 しかし、滞在の日数が尽きると、私たちはそこを出て、旅を続けることにした。彼らはみな、妻や子どももいっしょに、町はずれまで私たちを送って来た。そして、ともに海岸にひざまずいて祈ってから、私たちは互いに別れを告げた。

6 それから私たちは船に乗り込み、彼らは家へ帰って行った。

7 私たちはツロからの航海を終えて、トレマイに着いた。そこの兄弟たちにあいさつをして、彼らのところに一日滞在した。

- 8 翌日そこを立って、カイザリヤに着き、あの七人のひとりである伝道者ピリポの家に入って、そこに滞在した。
- 9 この人には、預言する四人の未婚の娘がいた。
- 10 幾日かそこに滞在していると、アガボという預言者がユダヤから下って来た。
- 11 彼は私たちのところに来て、パウロの帯を取り、自分の両手と両足を縛って、「『この帯の持ち主は、エルサレムでユダヤ人に、こんなふうに縛られ、異邦人の手に渡される』と聖霊がお告げになっています」と言った。

- 12 私たちはこれを聞いて、土地の人たちといっしょになって、パウロに、エルサレムには上らないよう頼んだ。
- 13 するとパウロは、「あなたがたは、泣いたり、私の心をくじいたりして、いったい何をしているのですか。私は、主イエスの御名のためなら、エルサレムで縛られることばかりでなく、死ぬことさえも覚悟しています」と答えた。
- 14 彼が聞き入れようとしないので、私たちは、「主のみこころのままに」と言って、黙ってしまった。

- 15 こうして数日たつと、私たちは旅仕度をして、エルサレムに上った。
- 16 カイザリヤの弟子たちも幾人か私たちと同行して、古くからの弟子であるキプロス人マナソンのところに案内してくれた。私たちはそこに泊まることになっていたのである。

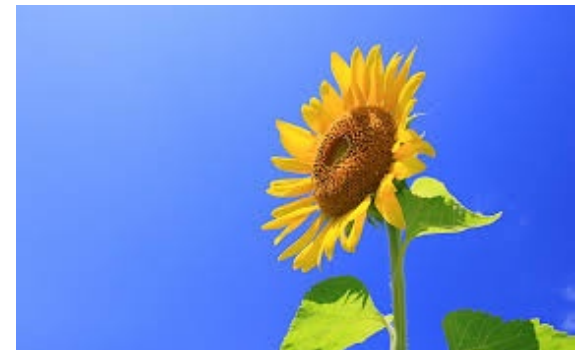
# 説教

使徒の働き連講 6 1

「心暖まる出会いの旅」

使徒の働き 2 1 章 1 節 - 1 6 節

竿代照夫師



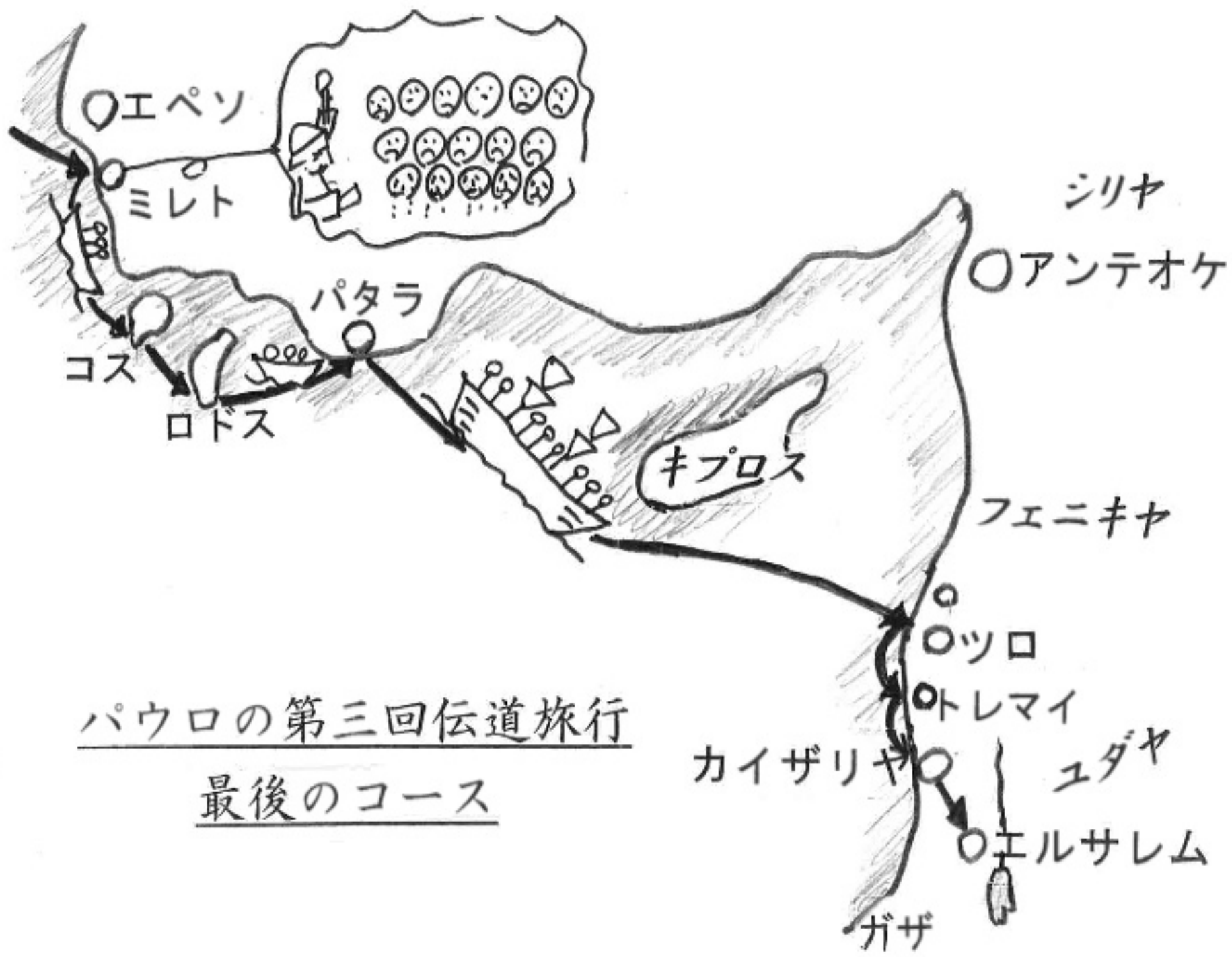


## 主テキスト

「滞在の日数が尽きると、私たちはそこを出て、旅を続けることにした。彼らはみな、妻や子どももいっしょに、町はずれまで私たちを送って来た。そして、ともに海岸にひざまずいて祈ってから、私たちは互いに別れを告げた。」

(使徒の働き 21:5)

前回のおさらい:ミレトでのサヨナラ説教(使徒20章)  
(地図 参照)



パウロの第三回伝道旅行  
最後のコース

カイザリヤ  
エルサレム  
ガザ

シリヤ  
アンテオケ

フェニキヤ

ユダヤ

## A . ミレトからツロへ ( 1 ~ 6 節 )

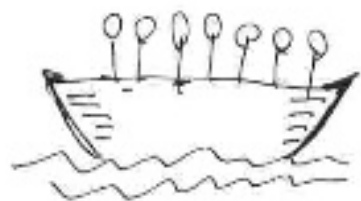
1 . コス : ヒポクラテスの医学校  
( 地図 再度参照 )

2 . ロドス : アポロ神殿 ( 世界の七不思議の一つ )

3 . パタラ : ルキヤ州都。ここで沿岸航行の小型  
船から大型商業船に乗り換え

4 . ツロ ( 地図 参照 )

キプロス



フェニキヤ



● ツロ

● トレマイ

カイザリヤ

ユダヤ



● エルサレム



- ・ツロ：フェニキヤ最大の港。ここで船荷を下す
- ・クリスチャンとの交わり：主イエスを見た人々（ルカ5：17）やサウロの迫害で散らされたエルサレムの信徒たち（11：19）がパウロ一行を歓迎
- ・彼らの勧告：パウロを待ち受けている危険を察知し、御霊に示されてエルサレムに行くなと勧告。しかし、パウロは危険を承知で上京することを表明
- ・別れ：信徒とその家族は、海岸でひざまずいて共に祈り、見送る

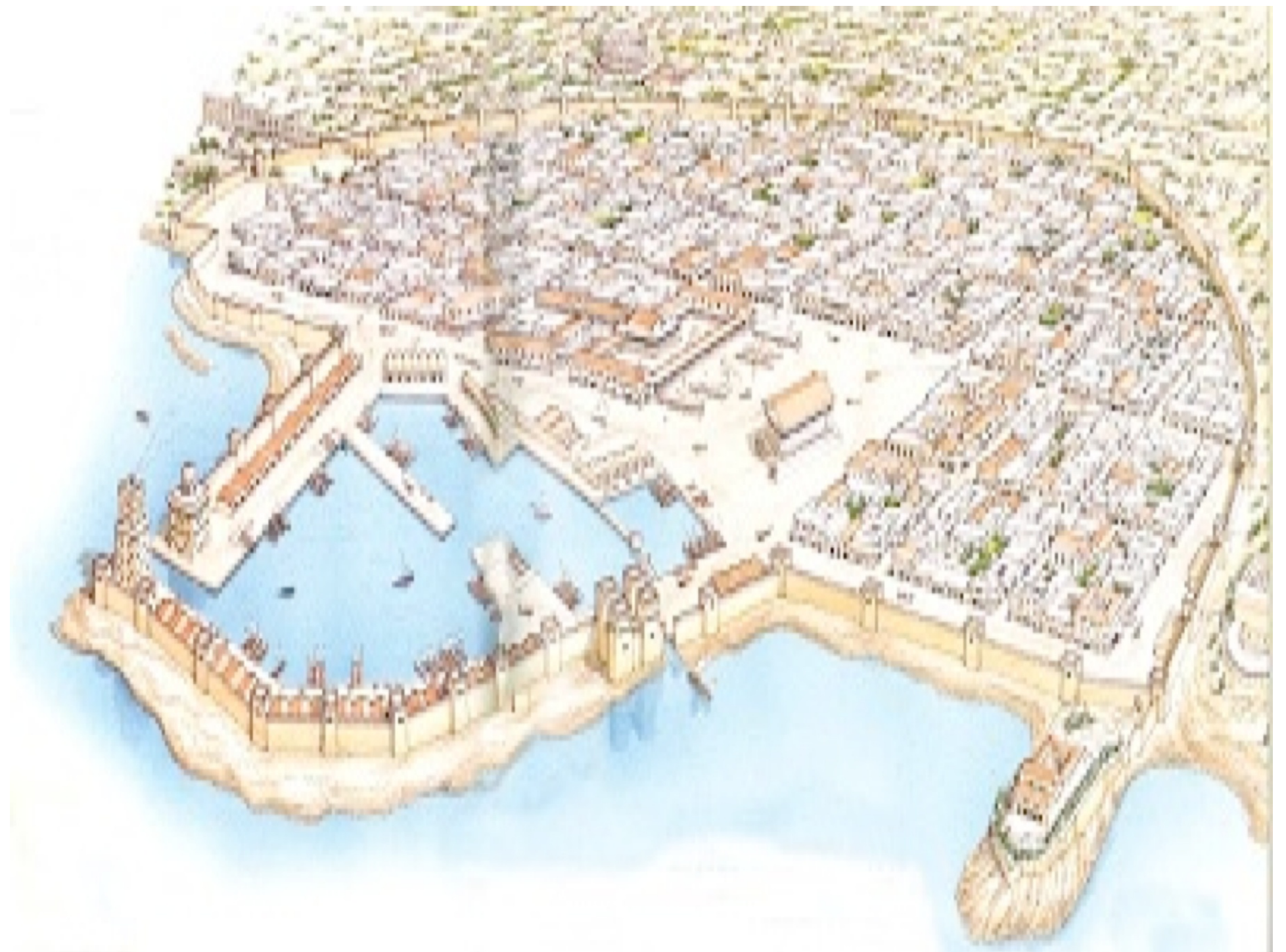
## B . ツロからカイザリヤへ ( 7 ~ 14 節 )

### 1 . トレマイでの滞在と交わり

( 地図 再度参照 )

### 2 . カイザリヤでの滞在と交わり

・カイザリヤ : ヘロデ大王が建てた超近代的な町 ( イラスト参照 )





- ・ピリポ家族との交わり:ピリポは、エルサレム教会執事、ステパノの友人。サウロの迫害でサマリヤに追い出されたが、そこで伝道してリバイバルを起こす。ガザでエチオピアの財務大臣に伝道した後、カイザリヤに定住。4人の娘は女預言者に。ヒエラポリスに移転し、同教会確立に貢献
- ・アガボの預言とパウロの応答:預言者アガボは、かつてエルサレムの飢饉のを予言し(11:28)今回はパウロの捕縛を予言する。カイザリヤの信徒たち、パウロ一行も「エルサレムに行かないように」パウロに懇願。しかし、パウロは死を覚悟してエルサレム行きを決行。周りの人々は、「主のみこころのままに」と委ねる。

## C . エルサレムへの旅と滞在 (15 ~ 16 節)

- ・エルサレムへの旅: カイザリヤの信徒たちは一行をエルサレムまでエスコートし、マナソン家に宿を手配
- ・エルサレムでの滞在: < 次週に >

終わりに：心暖まる出会いの恵み

- ・クリスチャンは、  
どこでも素晴らしい出会いがある
- ・私たちは、真のおもてなしを実行しよう